

# 令和3年度 わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～



ムラサキパークかさま (笠間芸術の森公園スケートパーク)



## はじめに

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染者が国内で初めて確認されてから1年が経過し、未だ終息が見通せない状況が続いております。

本市におきましても、昨年11月から今年1月にかけて、感染者数が著しく増加するなど、市民生活や経済活動が制限され、大きな影響を受けております。

これまでも国の緊急経済対策に加え、市独自の支援を実施するなど、感染症対策と社会経済活動の両立に向けての取組みを進めてまいりましたが、引き続き状況を見極めながら的確かつ積極的に対策等を講じてまいります。

限られた貴重な財源を有効活用するため、必要性が高い事業に重点を置いた予算とすることを掲げ、行財政改革を推進し、事務事業の見直しやビルド・アンド・スクラップにより、効率的で実効性の高い行政運営をめざし、全部署において可能な限り経費の見直しを図りながら、重点的な課題への新たな取組みを積極的に進めることとしました。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしていきますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

笠間市長 山口伸樹

# 目次

I	予算の概要	1
II	重要事務事業	2
III	重要事務事業一覧	9
IV	各会計の予算額	12
	一般会計	12
	国民健康保険特別会計	15
	後期高齢者医療特別会計	15
	介護保険特別会計	16
	介護サービス事業特別会計	16
	農業集落排水事業特別会計	17
	公共下水道事業会計	17
	病院事業会計	18
	水道事業会計	19
	工業用水道事業会計	19
V	事業スクラップにより廃止等を行う事業	20
VI	笠間市の財政状況について	22
VII	基金の状況	23
VIII	市債の状況	25
IX	合併特例債の使い道	27
X	公営企業会計の収支	28

# I. 予算の概要

令和3年度笠間市の予算規模（一般会計，特別会計及び企業会計予算の合計）は564億1,686万1千円であり，前年度と比較すると8億4,058万4千円（1.5%）の増となっています。

介護保険特別会計の6億7,300万円（10.0%）の増と水道事業会計の6億4,681万6千円（29.3%）の増が主な要因です。



## 【令和3年度会計別予算状況】

笠間のいな吉®

(単位：千円,%)

会計名	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	32,450,000	32,270,000	180,000	0.6
特別会計	16,420,000	15,977,800	442,200	2.8
国民健康保険特別会計	7,480,000	7,700,000	▲ 220,000	▲ 2.9
後期高齢者医療特別会計	987,000	916,000	71,000	7.8
介護保険特別会計	7,391,000	6,718,000	673,000	10.0
介護サービス事業特別会計	22,000	24,800	▲ 2,800	▲ 11.3
農業集落排水事業特別会計	540,000	619,000	▲ 79,000	▲ 12.8
企業会計	7,546,861	7,328,477	218,384	3.0
病院事業会計	1,013,363	940,335	73,028	7.8
収益的支出	966,708	919,000	47,708	5.2
資本的支出	46,655	21,335	25,320	118.7
水道事業会計	2,853,082	2,206,266	646,816	29.3
収益的支出	1,611,103	1,652,451	▲ 41,348	▲ 2.5
資本的支出	1,241,979	553,815	688,164	124.3
工業用水道事業会計	42,159	35,495	6,664	18.8
収益的支出	27,606	28,125	▲ 519	▲ 1.8
資本的支出	14,553	7,370	7,183	97.5
公共下水道事業会計	3,638,257	4,146,381	▲ 508,124	▲ 12.3
収益的支出	1,823,780	1,700,932	122,848	7.2
資本的支出	1,814,477	2,445,449	▲ 630,972	▲ 25.8
合計	56,416,861	55,576,277	840,584	1.5

### いな吉メモ① 『会計区分』

市町村では，お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業をする時は，『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また，特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は，『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として，福祉，土木，教育，衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により，特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により，事業運営を行う会計

## Ⅱ. 重要事務事業

2021年度は、市民生活に大きな影響を与えているコロナ禍の中で迎えることが想定されます。

今回のコロナ禍は幅広い範囲に及ぶ社会変化とともに市民生活に不安をもたらし、改めて安心で安全なまちづくりが求められています。そのような状況を受けて、「社会変化に対応した安心できる笠間暮らしの形成」を重点課題として設定し、公民連携及びデジタル化を共通の視点としながら、安心を感じる質の高い笠間暮らしの実現に向けたサービスの向上を図ってまいります。

### ○主な重要事務事業

SDGs・・・貧困や不平等、気候変動など、地球全体に関わるあらゆる問題を解決し、持続可能な社会へ変えていくため、2015年国連で定められた17項目の持続可能な開発目標。

笠間市でも今年度の重点プロジェクトにSDGsの考え方を取り入れ、推進を図っていきます。

※表中の事業費については、一部、令和2年度2月及び3月補正予算を含んでおります。

なお、事業費については、再掲分を含む事業費となっております。

### 【 都 市 基 盤 】

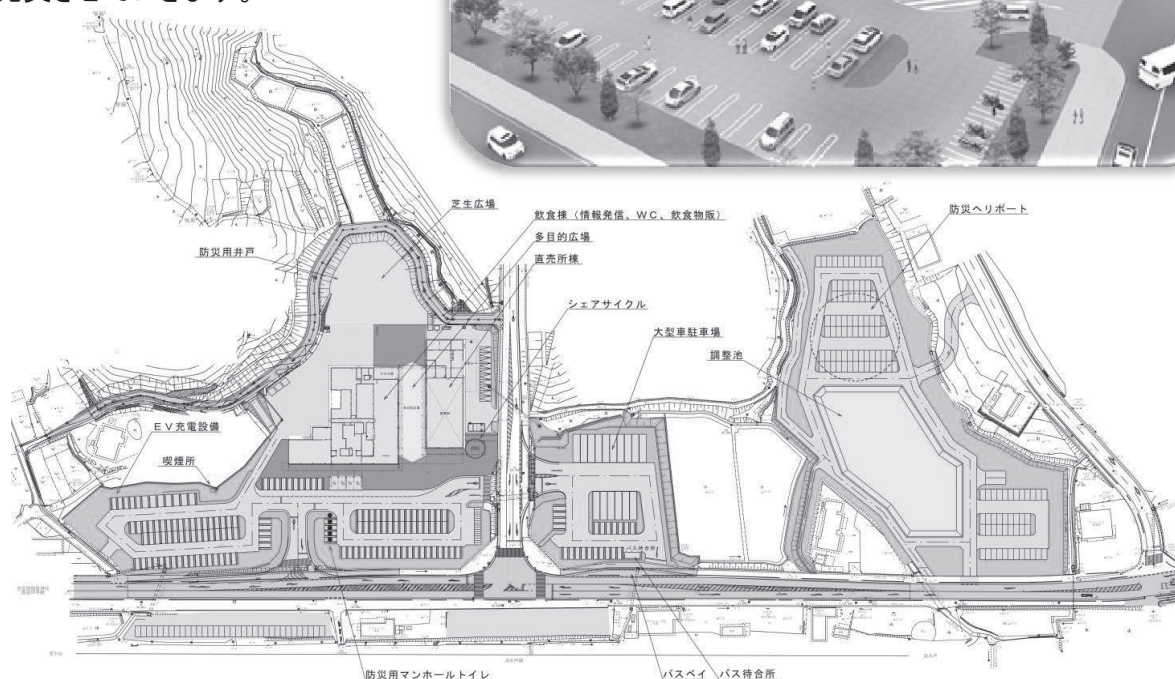
#### 重点道の駅の整備

拡充



1,337,735千円

令和元年度重点「道の駅」に選定されたため、インバウンドに対応した次世代観光拠点、高速道路と連携した交通結節点としての機能強化、子育て支援等の充実、災害時の広域防災活動拠点としての機能を充実させていきます。



利便性の高い  
公共交通網の形成

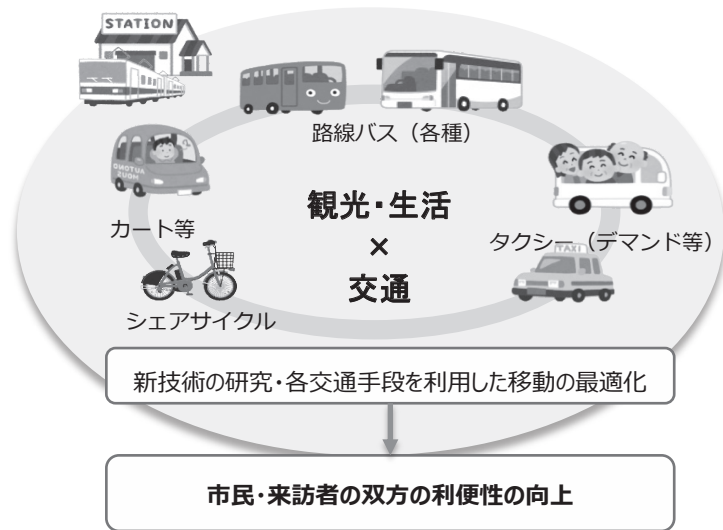
新規



264,513千円

利用者の減少などにより、各公共交通の持続については課題がある一方で、高齢化を背景とした公共交通機関への需要は高まっています。

様々な移動手段の組み合わせや導入を図りながら、生活者と来訪者にとって利用しやすい公共交通網の再編を推進します。



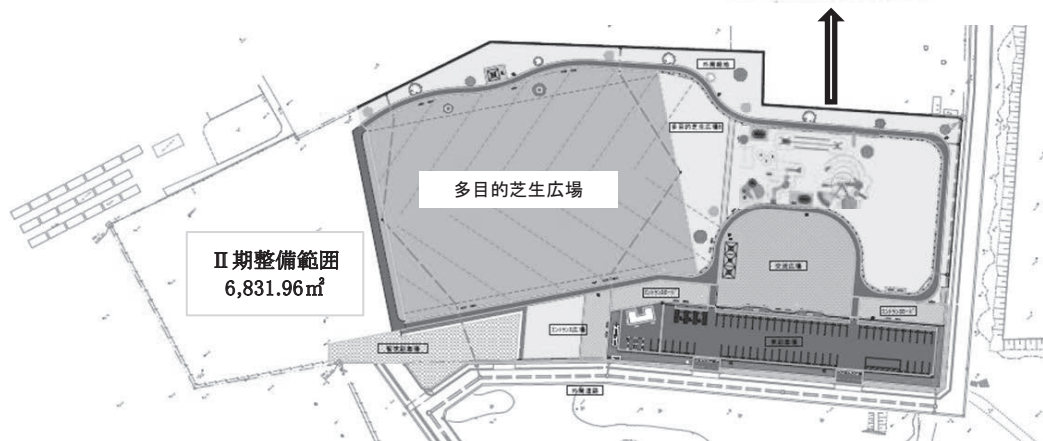
多目的広場の整備・活用



129,215千円

遊具施設

様々な年代の方が、遊具施設や芝生広場を中心とした多目的に利用できる広場として、本年夏頃のオープンを目指し、整備を進めます。



空家・空地利活用の促進

新規

令和3年度に計画最終年度となる空家等対策計画の改定を進めながら、適正管理を推進していくとともに、対象を絞った移住推進策と一体的に「空家・空地バンク制度」を運用し、利活用を推進していきます。



25,166千円

北関東自動車道空間PA  
スマートIC構想の推進

拡充

高速道路の利便性の向上、観光・産業を中心とした地域の活性化及び災害・緊急時の対応強化を図るため、空間PAへのスマートIC設置に向けた調査を実施します。



44,068千円



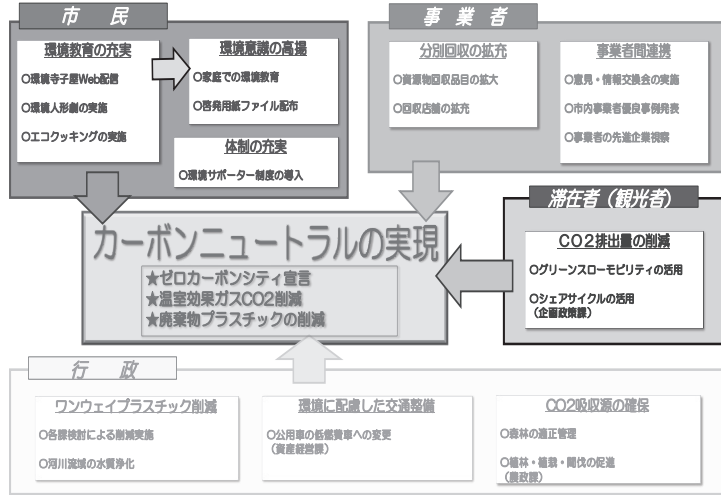
脱炭素社会の実現

新規  
拡充

新たに「ゼロカーボンシティ」を宣言することにより、市民・事業者・滞在者（観光者）・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組むことで、カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現を目指していきます。

カーボンニュートラルの実現

（環境負荷ゼロへの挑戦：ゼロカーボンシティ宣言）



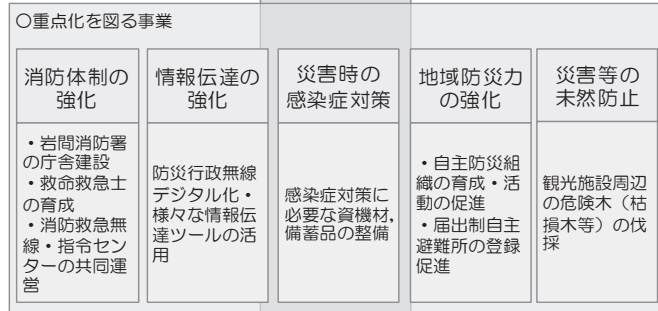
19,004千円

消防・防災体制の強化

新規  
拡充

近年の自然災害による被害発生を踏まえ、「消防体制の強化」「情報伝達の強化」「災害時の感染症対策」「地域防災力の強化」等により、消防・防災体制の強化を図ります。

消防・防災体制の強化



759,052千円

笠間市地域防災計画に基づく様々な防災対策

消防団活動の支援強化

新規

老朽化した消防団の消防ポンプ自動車等を更新整備し、火災等の災害対応力を強化します。  
また、免許制度の改正により準中型免許が必要となる消防団員に対し、その免許取得費用の補助を行うことにより、消防団の安定的な運営を図ります。



計画的な車両資機材の整備

免許取得の支援

消防団応援の店

消防団の入団促進、充実・強化  
（消防力の強化）



45,121千円

【 健康・福祉 】

子ども育成相談支援体制の強化

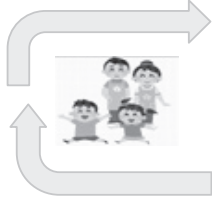
新規



48,943千円

本年4月より、「子ども家庭総合支援拠点」を子ども福祉課に設置します。また、こども育成支援センターでは、専門職による質の高い相談と育成支援を行い、発達に関する総合的な支援を展開します。

相談



支援

子ども家庭総合支援拠点  
【新規】

【拠点機能】

- 子ども・家庭等に関する支援
- ・相談支援
- ・関係機関と連携した継続的支援
- ・虐待に関する対応
- ・DVに関する対応等



こども育成支援センター

【センター機能】

- 子どもの発達に関する支援
- ・相談支援
- ・支援コーディネート
- ・育成支援
- ・教育支援（連携）等



妊娠・出産・子育て期  
の支援強化

新規  
拡充

安心して妊娠・出産ができ、すべての親と子が健やかに生活できる地域をめざし支援体制を強化します。病児保育事業や子育て短期支援事業を実施します。



120,720千円

保育体制・環境の充実

拡充

保育士の確保や離職防止のための事業のほか、保育環境のICT化を図り、業務負担軽減のための整備を進めていきます。



322,165千円

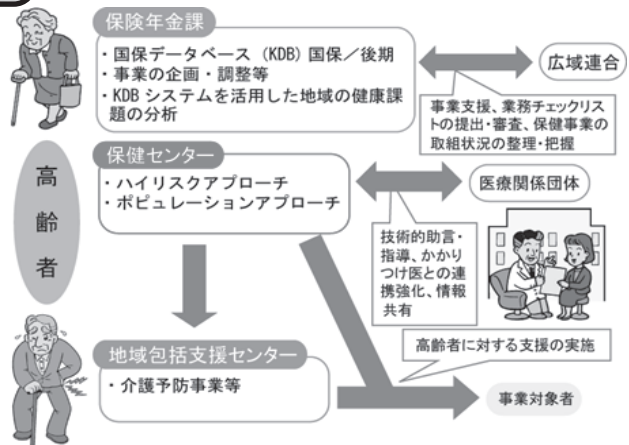
フレイル対策と  
介護予防体制の強化

拡充

後期高齢者の特性に応じ、医療専門職による既存の拠点等を活用した相談や訪問指導等、被保険者の生活習慣病等の重症化予防や心身の機能維持を図ることを目的とし、保健事業と介護予防の一体的実施を行います。



16,548千円



人材育成・生活支援の強化

新規



10,087千円

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減ってしまった、求職活動が上手くいかない、債務の返済で困っているなど生活に悩みや不安を抱える方が増える状況において、生活困窮者に対する新たな支援メニューを加えるとともに、自殺対策、ひきこもり支援等とも連携しながら、安心した生活を送るための支援の強化を図ります。



## 新型コロナウイルス ワクチン接種体制の構築

新規

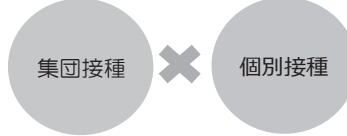


445,851千円

新型コロナウイルス感染症対策を強力に推進するため「ワクチン接種」と「感染拡大防止対策」の2つを柱に市内医療機関をはじめとする関係機関等と協力・連携しながら進めていきます。

### 接種形態

<集団・個別併用による実施>



### 接種対象者

- 16歳以上の市民（2回）
- ① 医療従事者
- ② 65歳以上の方
- ③ 基礎疾患を有する方
- ④ 高齢者施設等の従事者
- ⑤ 60～64歳の方
- ⑥ 16～59歳で上記以外の方

### 接種会場

- 個別接種：市内医療機関23箇所（想定）
  - 集団接種：公共施設3箇所（想定）
- ※ 笠間公民館、友部公民館、岩間公民館（市民センターいわま）

### 接種スケジュール

- 3月頃 医療従事者等（県が実施）
  - 4月頃 65歳以上の高齢者（高齢者施設入所者を含む）
  - 5月頃 基礎疾患を有する方
  - 5月頃 高齢者施設等の従事者
  - 6月頃 60～64歳の方（高齢者施設入所者を含む）  
16～59歳の上記以外の方
- ※ ワクチンの供給状況等により日程が変わる場合があります。

## 【 産 業 】

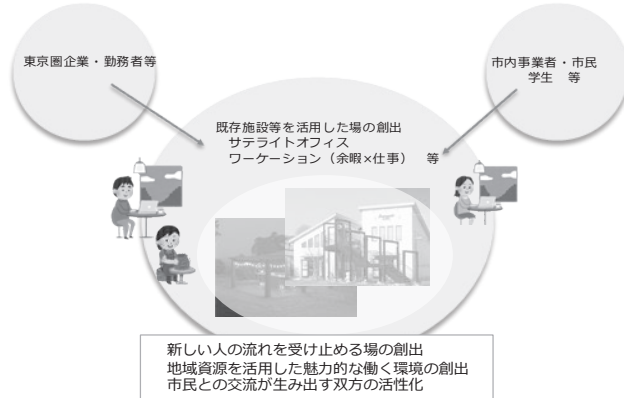
## サテライトオフィス・ ワーケーション等の誘致

新規

具体的な移住等につなげていくため、ETOWA KASAMAやIROHAをはじめとした、公民連携によるワーケーションやサテライトオフィス等の受け皿の確保を図るとともに、市民との交流を通して新しい人の流れを創出する取組みを推進します。



22,457千円



## あたご天狗の森公園 デザインリノベーション

拡充

「あたご天狗の森公園」については、遊具等施設の老朽化が課題となっており、この愛宕山地域の更なる活性化のため、「あたご天狗の森公園」を活用した周辺環境の形成を図ります。



8,000千円



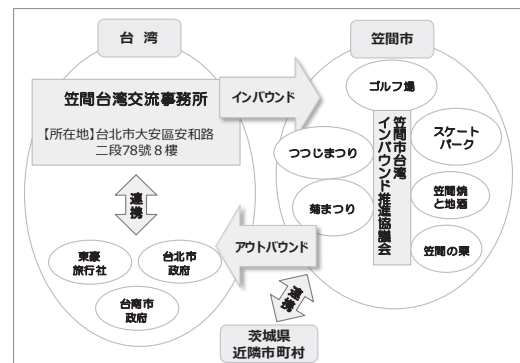
## 国際交流の活性化 （台湾交流事務所）

拡充

交流人口の拡大・誘客について、イベント出展や情報発信、学校給食等における地場製品の提供など、食を通じた文化交流や、アフターコロナを見据えたインバウンド・アウトバウンドの取組みを、台湾政府関係者との連携を図りながら、進めていきます。



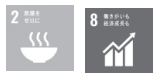
25,673千円



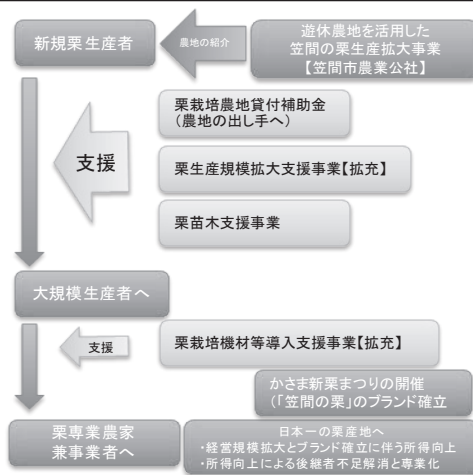
## 日本一の栗の産地づくりの推進

新規  
拡充

令和3年度からは、新規生産者や経営規模を拡大する農業者への支援のみならず、さらに事業展開を計画する農業者への支援も充実させ、日本一の栗の産地を目指していきます。



181,118千円



## 地場産業（笠間焼・稲田石）の販売力強化

新規  
拡充

市の代表的な地場産業の発展を多方面から支援することで、笠間焼・稲田石のブランド強化につなげ、また稼ぐ力を蓄えながら、経済的な地場産業の発展を目指します。



31,692千円

## 【教育・文化】

### GIGAスクール構想の推進

新規

GIGAスクール構想とは、「1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークなどを整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない教育を実現する」というプロジェクトです。今年度は、1人1台端末環境の下での「主体的・対話的で深い学びの実現」に向け、授業での活用を進めていきます。



81,623千円



### 東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの推進

拡充

東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、事前キャンプの実施等ホストタウン相手国・地域の選手等と人的・経済的・文化的な交流を進め、地域活性化等を図ります。オリンピック・パラリンピックの機運を高めるとともに、開催を契機にスポーツ参加への関心を向上させます。



24,981千円

- 大会直前～大会直後**
- 聖火リレー (7月4日)
    - ・応援イベント
    - ・サイドイベント
  - 事前キャンプ (7月中旬～下旬)
    - ・アメリカスケートボードチーム
    - ・フランススケートボードチーム
    - ・台湾ゴルフチーム
  - パブリックビューイング
    - ・スケートボード (7月25日・26日, 8月4日・5日)
    - ・ゴルフ (8月1日・7日)
    - ・マラソン (8月7日・8日)
  - 事後交流 (8月中旬)
    - エチオピア選手団メダル獲得報告会
- ～アベベ・ビキラ・メモリアル～かさま陶芸の里ハーフマラソン大会(12月19日)
- 台湾留学生交流事業
- バラスポーツ啓発事業
- ※令和4年度以降もホストタウン相手国・地域との交流事業を実施し、友好関係を継続。

スポーツによる  
まちづくり・人材育成の強化

新規

「笠間スポーツコミッション」を核として地域活性化やプロスポーツチームの誘致・支援に取り組み、市民の誇りの創出・都市ブランドの魅力向上を図ります。



17,267千円

笠間スポーツコミッション

実施主体/市・観光協会・体育協会・商工会など

プロチーム誘致	ツーリズム推進	アーバンスポーツ
茨城アストロプラネット活動拠点・オフシーズン選手就労相談	スケートボード ハーフマラソン テニス	スケートボード 3×3バスケット
新たなプロチームや全国レベルの大会を誘致	宿泊施設や道の駅など既存ストックとのパッケージによる活性化	駅前、神社などランドマークでの実施の可能性を検討

文化財の保存と文化振興の強化  
(日本遺産推進と笠間城跡)

拡充



44,945千円

日本遺産の推進では、笠間・益子共同での文化財公開やシンポジウムの実施等により「かしましこ」の更なる普及啓発を図ります。

【地域づくり】

多様なライフデザイン  
形成への支援

新規



4,288千円

結婚新生活の支援、女性の円滑な復職支援などライフステージに応じた支援等の展開やユニバーサルデザインの推進に取り組みます。

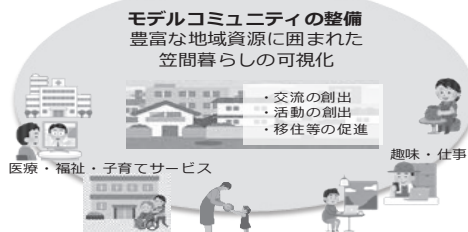
生涯活躍のまち(笠間版CCRC)  
モデルコミュニティの形成

公民連携によるモデルコミュニティの整備、笠間リビング・ラボの構築とともに、具体的な居住者確保策を実施します。

モデルコミュニティ整備箇所:旧市立病院跡地  
整備予定施設等:交流・宿泊棟,分譲20区画



16,700千円



住宅等整備・販売(居住者確保)	笠間リビング・ラボ(生活支援等)
積水ハウス御水戸支店 茨城セキスイハイム㈱ 大和ハウス工業㈱茨城支社 パナソニックホームズ㈱茨城支社	公轉により事業者を決定 ※連合体の設置 住宅事業者、大学、研究機関 市内外企業・団体 等で構成

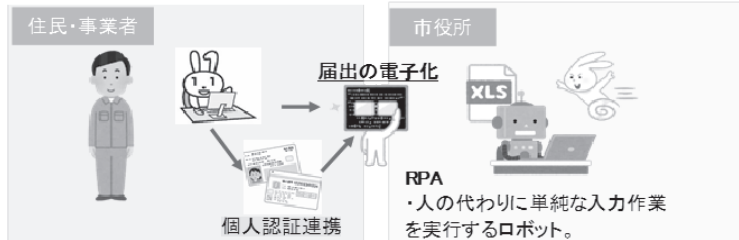
【自治体運営】

自治体デジタルトランス  
フォーメーションの推進

新規

デジタル化へ変革していく考え方により、(1)多様なライフスタイルに対応した行政サービスの実現(2)効率化を追求した行政運営(3)デジタル化の実現のための環境整備を進めます。また、ペーパーレスにより脱ハンコを進めていきます。

行政手続きのオンライン化→ICT化による業務効率化



<デジタル化の事例>

- 全庁的な脱ハンコの推進
- 避難訓練などの届出について電子申請化(消防本部)
- 道路工事等に伴う交通規制の届出の電子申請化(消防本部)



131,917千円



# Ⅲ. 重要事務事業一覧

表中の事業費については、一部、令和2年度2月及び3月補正予算を含んでおります。なお、事業費については、再掲分を含む事業費となっております。

## ➤ 第1章 都市基盤

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
<b>拡充</b>	□ 暮らす・訪れる都市空間の向上 都市計画マスタープランの策定 / 立地適正化計画の推進 / 景観計画の推進	まち	7,113
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 利便性の高い公共交通網の形成 【新規】公共交通網再生計画の策定 / スマートシティモデルの実装 / 新たな移動手段(シェアサイクル)の導入 既存交通のサービス向上の推進(デマンドタクシー・スクールバス・観光周遊バス・路線バス助成) 駅設備の更新	まち	264,513
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 空家・空地利活用の促進 【新規】住宅地の再生促進 / 空家・空地バンク / 管理不全対策	まち	25,166
<b>拡充</b>	□ 重点道の駅の整備	まち・もの	1,337,735
<b>新規</b>	□ 友部駅南口周辺の魅力向上 【新規】友部駅南口地区活性化計画 / 市役所周辺整備	まち	44,000
	□ 多目的広場の整備・活用	まち	129,215
<b>新規</b>	□ 笠間芸術の森公園スケートパークの活用	まち	—
<b>拡充</b>	□ 安居工業地域の整備		25,910
	□ 幹線・生活道路の整備(幹線道路整備・狭あい道路解消・維持修繕等)	まち	823,150
<b>新規</b>	□ 自転車活用環境の向上 【新規】国・県・市道の自転車通行空間の整備 / シェアサイクルの導入(再掲)	まち	15,360
<b>拡充</b>	□ 北関東自動車道笠間PAスマートIC構想の推進	まち	44,068
<b>拡充</b>	□ 市内インフラの長寿命化(上水道・下水道・橋梁) 【新規】穴戸浄水場の更新整備 / 水道の老朽管改修 / 市内道路橋の長寿命化		997,464
<b>新規</b>	□ 水道事業・下水道事業経営の強化 【新規】農業集落排水特別会計の公営企業化推進 / 上下水道料金等の包括的業務委託の推進 / 下水道事業の広域化検討		101,457
	□ 生活排水の適正処理の推進 公共下水道・農業集落排水の整備及び接続支援 / 合併浄化槽設置補助	まち	80,590

## ➤ 第2章 生活環境

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ カーボンニュートラルの実現(脱炭素社会の実現) 【新規】環境サポーター制度の導入 / 【新規】先進的な取組みの視察 【拡充】環境負荷の少ないモビリティの導入 / 【拡充】環境アクションプランの啓発強化		19,004
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 廃棄物処理体制の強化 【新規】一般廃棄物処理施設整備の調査(施設整備における循環型社会形成推進地域計画の策定) 【拡充】最終処分場の整備・建設		315,419
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 消防・防災体制の強化 【新規】岩間消防署の設計 / 【拡充】救急救命士の育成 / 防災無線のデジタル化推進 消防救急無線・指令センターの共同運営 / 公園周辺の危険木伐採 / 自主防災組織の育成・活動の促進 【拡充】※災害と感染症の複合災害に備えた体制の構築		759,052
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 消防団活動の支援強化 【拡充】消防団ポンプ車両の計画的な整備 / 【新規】消防団活動への支援(免許取得の支援)		45,121
	□ 防犯力の充実・強化 行政区への防犯カメラ設置補助 / 行政区への防犯灯設置補助	まち	4,208
	□ 安全・安心な消費生活の支援 消費生活センターの運営 / 消費者トラブル防止の啓発		11,999

➤ 第3章 健康・福祉

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
新規	□ 新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築		445,851
拡充	□ 「地域医療センターかさま」の充実（医療・保健・福祉連携強化） 【拡充】オンライン診療の実施 / 地域医療センターかさま病児保育の実施 プレコンセプションケア（将来の妊娠を考えた健康維持と生活の向上）の推進 筑波大学附属病院との連携推進（指導医派遣・研修医受入）	ひと	29,759
新規	□ 子ども育成相談支援体制の強化 【新規】子ども家庭総合支援拠点の設置 / こども育成支援センターの運営	ひと	48,943
新規 拡充	□ 妊娠・出産・子育て期の支援強化 子育て世代包括支援センターの運営 在宅子育て支援の実施 【新規】親と子の体験事業（公立保育所でのふれあい体験） 【拡充】ママ・リフレッシュ（託児付き講座） ママ・ホリデー（在宅児童一時預かり） 【拡充】特定不妊治療費の助成 / 短期支援（保護者の疾病・疲労等による養育困難時における一時養育・保護） 子育てと就労の両立支援（病児保育事業） / ひとり親家庭等の就業支援（高等職業訓練費の助成）	ひと	120,720
	□ 子育て世帯に対する負担軽減 医療福祉費支給・自己負担金助成 / 予防接種費用の助成（インフルエンザ、おたふく、風しん抗体検査） 公営住宅活用による子育て世帯向け住宅支援	ひと	680,812
拡充	□ 保育体制・環境の充実 【拡充】保育環境のICT化の推進 / 保育士確保と保育士の負担軽減 / 公私連携認定こども園の運営 認可外保育施設等の預かり保育・一時預かり等の子育て支援 / 放課後児童クラブの運営及び支援	ひと	322,165
	□ 地域で支えあう体制の推進 見守り・緊急時対応等を含む支援 / 地域での認知症対策の推進	ひと	33,689
拡充	□ フレイル対策と介護予防体制の強化 【拡充】高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（口腔機能の維持・向上） 介護予防の充実と介護の重度化防止	ひと	16,548
拡充 拡充	□ 各種がん検診等、健康診査の勧奨及び保健指導の強化 □ 生活習慣病予防の推進（国民健康保険） 特定健康診査等事業（AIを活用した受診勧奨）、特定保健指導の実施 / 人間ドック・脳ドック受診の推奨	ひと	71,391 90,859
新規	□ 人材育成・生活支援の強化 【新規】家計改善の支援 / 【新規】就労準備支援 / ひきこもりサポートの充実 / 自殺対策の強化	ひと	10,087
	□ 生活習慣病予防対策 糖尿病予防教室・糖尿病重症化予防教室の開催 / 生活習慣病予防対策事業の実施（糖尿病性腎症重症化予防事業）	ひと	5,931

➤ 第4章 産業

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
拡充	□ 企業誘致の強化	もの	524,794
新規	□ サテライトオフィス・ワーケーション等の誘致 【新規】※働く場所の構築による域外からのひとの流れの創出	まち・もの	22,457
	□ 地域経済の担い手育成支援（創業支援、人材確保） ワンストップでの創業支援の実施 / 地域企業の人材確保 / 地域企業の雇用創出支援	もの	6,083
	□ 農業の担い手育成と生産体制の支援 農業担い手の育成支援（各種支援制度による担い手の育成・確保）	もの	33,969
新規 拡充	□ 日本一の栗の産地づくりの推進 【新規】加工施設の整備 / 【拡充】生産規模拡大支援 / 【拡充】栽培機材導入支援 / 苗木支援 農地貸付支援 / 遊休農地を活用した生産拡大 / 笠間の栗のPR強化（新栗まつりの開催）	もの	181,118
新規	□ 農業・畜産生産基盤の整備・充実 土地改良事業の推進 / 農地や農道、水利施設の保全 / 【新規】農業水利施設の長寿命化・再整備 【新規】※畜産生産基盤の強化支援		1,260,399
新規 拡充	□ 地場産業（笠間焼・稲田石）の販売力強化 【新規】地場産材の普及促進策の展開 / 【拡充】JAPANブランド（笠間焼の海外展開）の推進 【拡充】日本遺産のPR強化 / 窯業・石材業の販売強化	もの	31,692
拡充	□ 国際交流の活性化（台湾交流事務所）	もの	25,673
	□ 新たな観光戦略の推進 【新規】※デジタル化による新たな観光案内の実施 / 地域資源を活用した観光戦略の推進 台湾等のインバウンド観光推進 / 体験型民泊等の推進	もの	16,244
拡充	□ あたご天狗の森公園デザインリノベーションの推進	まち	8,000

➤ 第5章 教育・文化

(単位：千円)

事業名		重点課題	事業費
<b>新規</b>	□ GiGAスクール構想の推進 【新規】GiGAスクール構想（1人1台のタブレット端末とICTを活用した教育環境）の推進 ICT教育指導支援員の配置 / オンライン通信費の支援	ひと	81,623
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 英語教育の強化 【新規】市内中学生を対象とした異文化体験（ブリティッシュヒルズ）の実施 【拡充】ICTを活用した海外の学校等との交流	ひと	21,776
<b>拡充</b>	□ きめ細かな学校教育サポートの推進 スクールソーシャルワーカーの配置 / 部活動指導員の配置 / 【拡充】特別支援教育支援員の配置 特別支援学級への指導専門員の巡回派遣	ひと	91,009
<b>新規</b>	□ 学校給食提供体制の強化（岩間給食センターの大規模改修）		72,742
<b>拡充</b>	□ 文化財の保存と文化振興の強化（日本遺産推進と笠間城跡） 日本遺産PRの強化 / 笠間城跡の国指定史跡への推進（継続調査・検討）	まち	44,945
<b>拡充</b>	□ 「日本の図書館」サービスの展開 ◎8年連続第1位の貸出総数（人口8万人未満の市区） 【拡充】新たな図書館サービスの展開（電子図書館）		120,016
<b>拡充</b>	□ 東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの推進 ホストタウン相手国地域との交流推進 / 事前キャンプ（アメリカ・フランス・台湾）の受入・交流 / 聖火リレーイベントの実施 パラスポーツの啓発・推進		24,981
<b>新規</b>	□ スポーツによるまちづくり・人材育成の強化 【新規】スポーツコミッションによる地域経済の活性化 / 【新規】子どもたちの適正スポーツの発見・サポート スポーツを通じた国際交流（エチオピア人オリンピック）の推進 練習成果を発揮する場の提供（ハーフマラソン大会・駅伝大会）		17,267
<b>新規</b>	□ 芸術文化活動の魅力発信強化 【新規】笠間の偉人マンガの制作 / 笠間陶芸大賞の開催 / 全国こども陶芸展の開催 全国こども絵画展の支援（日動美術館） / 音楽フェスタ～奏～の開催	もの	14,466

➤ 第6章 地域づくり

(単位：千円)

事業名		重点課題	事業費
<b>新規</b>	□ 多様なライフデザイン形成への支援 【新規】結婚支援の実施 / 多様なライフスタイルの提案 / ユニバーサルデザインの推進	ひと	4,288
	□ 持続する地域活動への支援 地域づくり組織・団体等への支援 / 地区公民館の改修 / 地域交流センターの運営	ひと・まち	130,378
<b>新規</b> <b>拡充</b>	□ 移住促進による人材確保の推進 【拡充】移住支援体制の構築・強化 / 地域おこし協力隊活動支援 【新規】新たな魅力発信による関係人口創出	ひと	36,355
	□ 生涯活躍のまち（笠間版CCRC）モデルコミュニティの形成	まち	16,700
	□ 国際交流・国際化の推進 外国人人材の活用 / 外国人相談窓口の設置	ひと	5,262

➤ 第7章 自治体運営

(単位：千円)

事業名		重点課題	事業費
<b>新規</b>	□ 自治体デジタルトランスフォーメーションの推進 【新規】ICT化による効率化・サービス向上策の推進（RPAの導入） 【拡充】マイナンバーカードの普及促進・利活用促進 【新規】行政文書の電子化の更なる推進 / 【拡充】※テレワークの体制の拡大 【拡充】電子入札の全面実施 / 子育て・福祉のオンラインによる相談体制の実施 【新規】キャッシュレス決済の導入（オンライン申請、市民課・税務課窓口） 【新規】公共施設予約システムの導入 【拡充】ペーパーレス会議の拡大（介護認定審査会、農業委員会） 【新規】電子契約の実施	まち	131,917
	□ 自主財源の確保 ふるさとづくり寄附金・企業版ふるさと納税の活用推進 / 市税等収納対策の強化		82,879
	□ 戦略的な広報活動の推進（シティプロモーションの推進）	ひと	19,593
<b>新規</b>	□ 既存ストックの適正管理と利活用の推進 【新規】公有財産の適正管理 / 【新規】空き校舎等の利活用促進	まち	1,795
	□ 公民・広域連携の推進 定住自立圏（水戸市など9市町村）での連携推進 / 連携中枢都市圏など新たな連携策の検討 各種事業等における公民連携策の推進 / 北山公園・クラインガルテンの公民連携の検討	まち	2,260
<b>新規</b>	□ 新たな行政方針・仕組み改革の推進 第2次総合計画後期アクションプラン・第4次行財政改革大綱の策定		10,484



# IV. 各会計の予算額

～ 令和3年度予算について～

## 一般会計

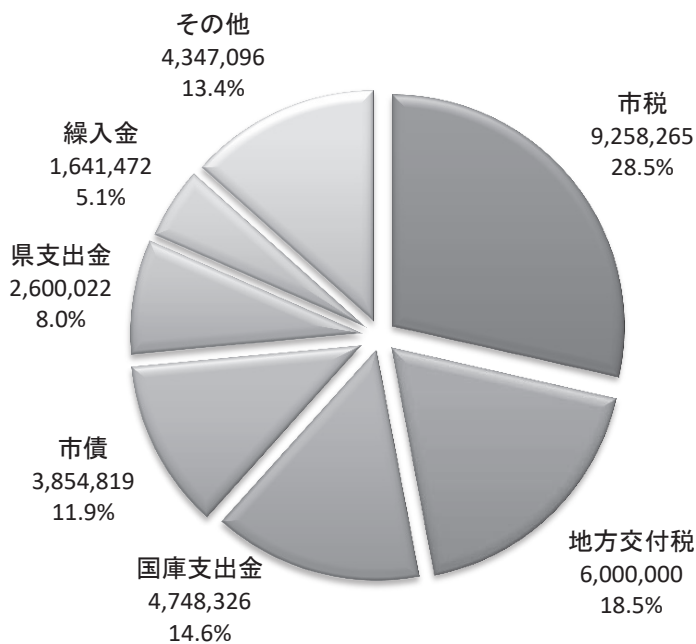
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市民税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

令和3年度予算は324億5,000万円  
前年度比1億8,000万円増

### 〇歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約93億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は60億円、国庫支出金と県支出金をあわせて約73億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



区 分	主 な 内 容
市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。
国庫支出金 (国からの歳入)	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金 (県からの歳入)	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

### いな吉メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

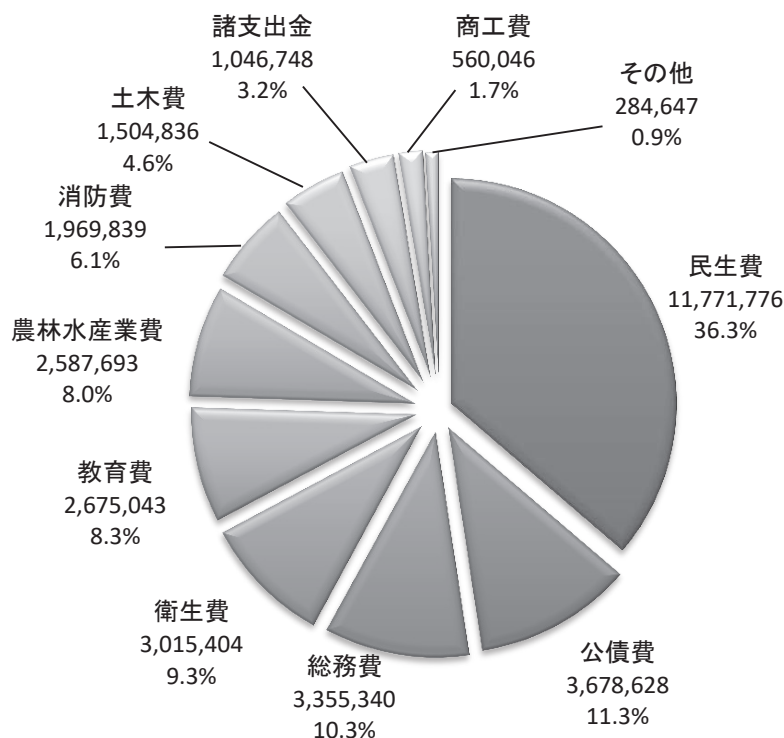
やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

## ○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いよ。今年度は、障害者自立支援給付費などが増えているよ。



目的別

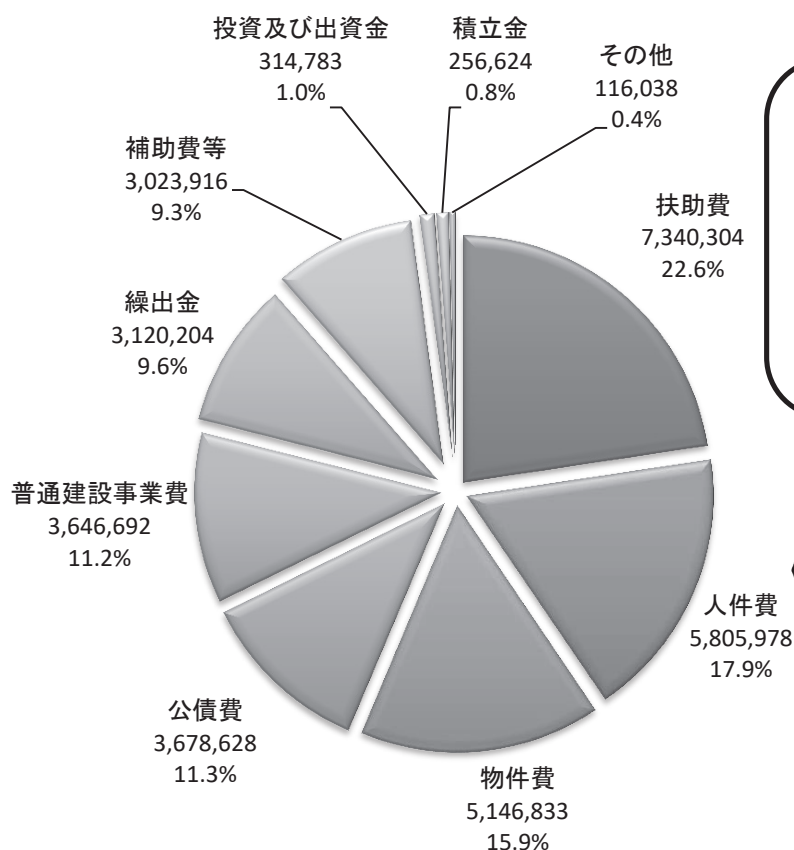
区 分	主 な 内 容
民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの事業費です。
公 債 費	借入金を返済する事業費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，環境対策，ごみ収集などの事業費です。
教 育 費	学校・図書館などの事業費，スポーツ大会などの事業費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための事業費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動事業費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
諸 支 出 金	病院事業や公共下水道事業等への支出金です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
そ の 他	議会運営費や不測の事態に備えた予備費等です。

### いな吉メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこで色々な審議・議論がされて、決定されるんだよ。

ここでは、歳出予算を性質にしたがって区分しています。生活支援や道路整備などの事業を実施するために、どのような性質の費用がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【性質別】（千円） 》



どんな費用を、いくら見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉などの支援のための経費（扶助費）が1番多いんだ。



区 分	主 な 内 容
扶 助 費	児童・高齢者・障害者・生活困窮者などへの支援のための費用です。
人 件 費	議員や特別職、会計年度任用職員の報酬、一般職員の給与などです。
物 件 費	委託や備品の購入、消耗品にかかる費用などです。
公 債 費	借入金の返済にかかる費用です。
普通建設事業費	建設工事にかかる費用です。
繰 出 金	他の会計に支出するお金のうち補助費等以外のものです。
補 助 費 等	他の会計や、個人・団体へ支払う補助金や負担金などです。
投資及び出資金	他団体や他会計に支出する出資金などです。
積 立 金	基金などに積み立てるお金です。
そ の 他	維持補修費や貸付金、予備費などです。

いな吉メモ④ 『一度決めた予算は変えないの??』

当初予算で見込んでいない事があった時、例えば災害が起こって予定外の経費がかかる場合は、それに対応した予算に変更するんだ。これを『補正予算』というんだよ。これも当初予算と同じように、市長が案を作って、市議会で決まるんだ。



# 国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



令和3年度予算は74億8,000万円  
前年度比2億2,000万円減

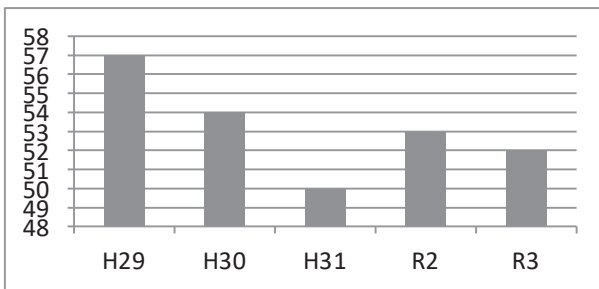
加入者の高齢化に伴う後期高齢者医療制度への移行等により、加入者数は減少していることから、予算は減額となっています。今年度は、特定健康診査受診率向上のため、AIを活用した受診勧奨を実施します。



被保険者は約18,000人を見込んでいて、そのうち約5割が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。  
市の保険給付費は1人当たり約27万円だよ。

## 【保険給付費の推移】

(単位：億円)



## ○主な事業

### 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病性腎症等の治療レセプトがある患者で重症化するリスクの高い対象者を抽出し、医療機関と連携して保健指導（服薬管理、食事療法、運動療法）を行います。

5,290千円

# 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



令和3年度予算は9億8,700万円  
前年度比7,100万円増

今年度は、被保険者の増に伴い、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を増で見込んでいます。

# 介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。  
 現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。



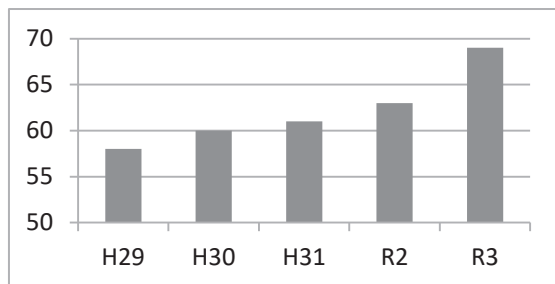
令和3年度予算は73億9,100万円  
 前年度比6億7,300万円増

今年度は、認知症における地域での支援を目的としたイベントの開催や認知症カフェなどを実施します。  
 また、高齢者が元気で健やかに年齢を重ねられるよう、地域の様々な専門職と連携しながら、介護予防や介護の重度化予防を意識した取り組みを継続します。

介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。  
 今年度の認定者は、約4,000人を見込んでいるよ。  
 1人当たりの給付費は約171万円なんだ。



【保険給付費の推移】 (単位：億円)



## ○主な事業（保険給付費以外）

### 訪問・通所サービス事業

要支援の方及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が利用できる総合事業のサービスを実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業）  
 153,959千円

### 日常生活支援サービス基盤整備事業

各地区に生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）を配置し、関係者間の情報共有、地域の支援ニーズとサービスのマッチングを行い、地域づくりを推進していきます。  
 14,952千円

# 介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成費を主な収入としています。



令和3年度予算は2,200万円  
 前年度比280万円減

今年度は、計画書作成件数を3,720件で見込んでいます。

# 農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活排水をきれいにする農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、使用料などを財源に施設の運営管理や下水道の整備などを行います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整備・管理をしています。



令和3年度予算は5億4,000万円  
前年度比7,900万円減

今年度は、小原地区を中心とする友部北部地区Ⅱ期地区の管路施設工事などの整備事業費の減により、予算が減額となっています。

# 公共下水道事業会計

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする公共下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・管理をしています。



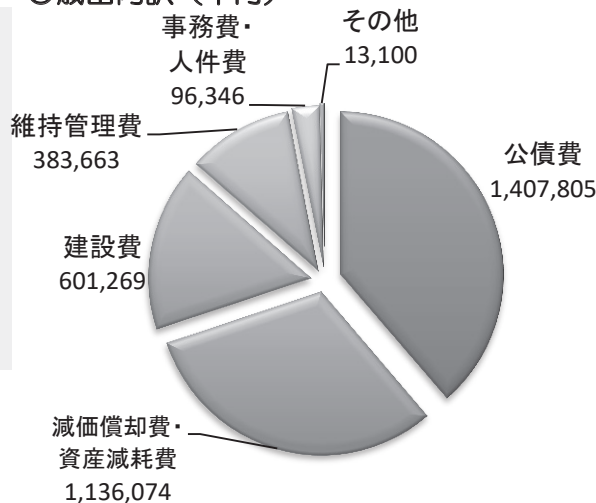
令和3年度支出予算は36億3,825万7千円  
前年度比5億812万4千円減

今年度は、一昨年度から行っている浄化センターともべの汚水処理施設の増設工事に係る建設費の減により、予算が減額となっています。

その他、管路施設の新設整備に加え、老朽化した管路の更新に係る工事を行います。

また、ストックマネジメント計画に基づく汚水処理施設の更新工事を行います。

○歳出内訳（千円）



## ○主な事業

### 広域化・共同化計画検討業務

施設の老朽化や使用料の減などの課題があるなか、公共下水道事業の持続性を確保し、運営効率化を図るため、事業の広域化や共同化を検討します。

11,594千円



公営企業会計の「発生主義」の考え方のもと減価償却費等を計上しています。公債費とともに大きな割合を占めているよ。



# 病院事業会計

笠間市における公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

入院外来診療収益等によって病院事業費用をまかなう『収益的収支』と一般会計からの出資金等によって医療機器の購入費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

令和3年度予算は10億1,336万3千円  
前年度比7,302万8千円増

地域医療センターかさまは、笠間市立病院、訪問看護ステーションかさま及びケアプランセンターかさまに加えて、①保健センター、②地域包括支援センター、③病児保育室が併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！

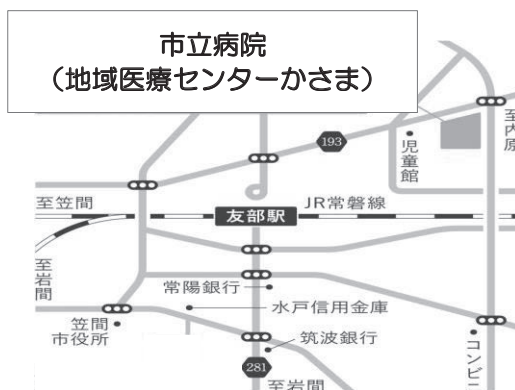


## ○主な事業

### 在宅医療の推進

訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを強化することで、住み慣れた自宅で安心して生活しながら医療を受けることができるように在宅医療を推進していきます。

## ○位置図



## ○外来診療のご案内

診療科目		受付時間	
内科	月曜日～金曜日	午前	8:30～11:00
		午後	13:00～16:00
皮膚科	火曜日・木曜日	火曜日	午前・午後
		木曜日	午前中のみ

\* 祝日、年末年始は休診となります。

\* 初期救急診療として、平日夜間・日曜診療を行っています。



地域医療センターかさま

\* お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

# 水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と企業債などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



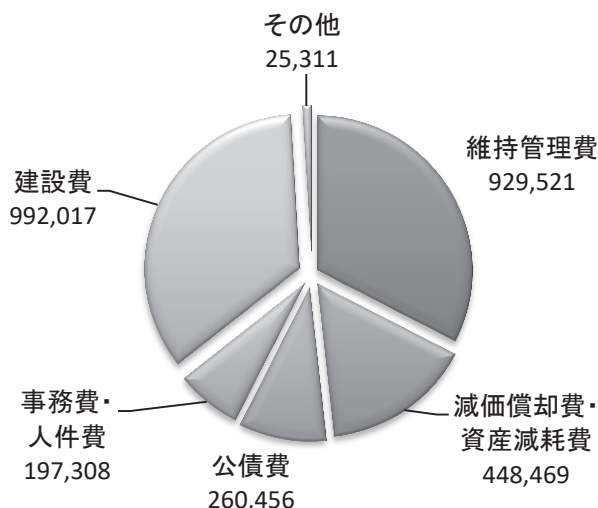
令和3年度支出予算は28億5,308万2千円  
前年度比6億4,681万6千円増

今年度は、穴戸浄水場の更新にかかる費用の計上により増額となっています。また、今年度についても、石綿管解消に引き続き、老朽管更新工事を実施します。

## ○令和3年度業務予定量

給水件数	26,387 件	
年間総給水量	6,565,636 m <sup>3</sup>	
一日平均給水量	17,988 m <sup>3</sup>	
建設改良事業	事務費	7,595 千円
	施設改良費	992,017 千円

## ○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約660万m<sup>3</sup>。  
東京ドーム約5.3個分もあるんだよ。



## ○主な事業

### 穴戸浄水場整備事業

新たに策定した水道事業第2次基本計画に基づき、老朽化した穴戸浄水場を更新するための更新工事を実施していきます。

788,000千円

# 工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



令和3年度支出予算は4,215万9千円  
前年度比666万4千円増

今年度は、1号井取水施設改修に伴う費用の増額により、予算額が増額となっています。

## ○令和3年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	140,417 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	385 m <sup>3</sup>

## V.事業スクラップにより廃止等を行う事業

総合計画の実現や業務の効率化を図る目的から、行政評価の一環として、事務事業の廃止・見直し等（事業スクラップ）を推進しました。

### (1)スクラップ事業の統計

廃止 44件（廃止：25件，統合：19件）  
見直し 43件（縮小：17件，効率化・改善：26件）  
合計 87件

### (2)効果額（R3当初予算額とR2当初予算額の差）

▲66,337千円（廃止事業，縮小事業等の一部）

### (3)スクラップ事業（一部抜粋）

（単位：千円）

No.	事務事業名	内容		効果額
1	職員被服貸与事業	イベント時はスタッフビブス等により対応可能であることと、職員各自の働きやすい服装の推奨のため作業服の貸与を廃止するもの。	廃止	▲ 1,159
2	車輛管理事業（本所） -市バス運行事業 -副市長車	令和2年度末で市バスを廃止し、副市長車については専用の運用を見直し、一般の公用車として利用を行うこととする。	廃止	▲ 3,292
3	市民憲章推進事業	協議会設立から10余年経過し、市民憲章の理解浸透・普及について一定の効果が得られたため。	廃止	▲ 302
4	市街地活性化推進事業	当初の事業目的が十分達成されたため、事業終了とする。	廃止	▲ 10,080
5	事業承継支援事業	補助を支出している商工会と連携し、事業承継に限らない包括的な支援を進めていくため。	廃止	▲ 218
6	観光PR戦略事業 -かさま除夜の鐘会場設営	かさま除夜の鐘については、参加者が年々減少しているため廃止する。	廃止	▲ 300
7	教育企画推進事業 -三世代ふれあい事業	コロナ禍において新たな地域交流の手法が求められるため。	廃止	▲ 1,032
8	ホームページ管理運営事業	現在、笠間市HP、教育委員会HP、かさまぼけっとなどそれぞれの部署でホームページを作成し運用しているが、市として一体感のあるホームページとするため、統合する。	統合	▲ 1,384
9	情報系システム管理事業	令和3年度からプリンタを原則廃止し、管理を縮小させる。	縮小	-
10	財政事務 -予算書の印刷	令和3年度から予算書については、タブレット（電子データ）による対応とするため、印刷はしないこととする。	縮小	▲ 230
11	電子入札システム共同利用事業	令和3年度から電子入札の対象拡大し、原則すべての入札の電子化の実施。	改善	-



No.	事務事業名	内容		効果額
12	電話交換事務	事務を効率的に行うため、令和3年度から民間力を活用する。	改善	-
13	環境センター管理事業	警備委託業務や電気保安業務委託等を最終処分場管理事業と各々発注していたものを集約して発注することで事務の効率化を図る。	効率化	-
14	生活保護給付事業（扶助費以外）	生活状況確認訪問においてタブレットを活用し令和3年度から業務の効率化を図る。	改善	-
15	難病患者見舞金支給事業	対象者、支給額等の見直しを行い、令和3年度より効果的な事業実施を図る。	改善	-
16	家族介護継続支援事業（介護用品の支給）	支給対象者を見直し、要介護3～5の本人課税者を対象外とした。	縮小	▲ 4,026
17	特定健康診査等事業	令和2年度から健診予約業務委託により、受診券送付郵送料の縮小、検尿キット封入作業委託料の経費及び職員の事務量の削減を図っている。	改善	▲ 160
18	医療福祉費自己負担金助成事業（市単独分）	自己負担金支給申請の入力について、RPAによる業務の効率化を検討。令和3年度から導入する。	改善	-
19	予防接種事業	インフルエンザ予防接種の対象者等を見直すことにより事業の縮小を図るもの。	縮小	▲ 31,500
20	外国人旅行者受入事業	祭りを核とした観光誘客に係る委託事業について、一定の成果が見られたため見直した。	縮小	▲ 1,980
21	グローバル人材育成事業（旧AET事業）	JETプログラム事業から直接雇用（グローバル人材事業）へ移行し、全体的な雇用人数を削減・精査する。	統合	-
22	常備消防事務	各消防署の消防事務事業を統合。	統合	-
23	農業委員会運営・事務局事業	令和2年度にタブレットを導入したことで総会議案書及び現地調査のための申請書のコピー・送付作業が省けることになり事務の効率化及びペーパーレス化を図るもの。	改善	-
24	出納事務	令和3年からタブレットを導入したことに伴い決算書の印刷を廃止するもの。	縮小	▲ 242

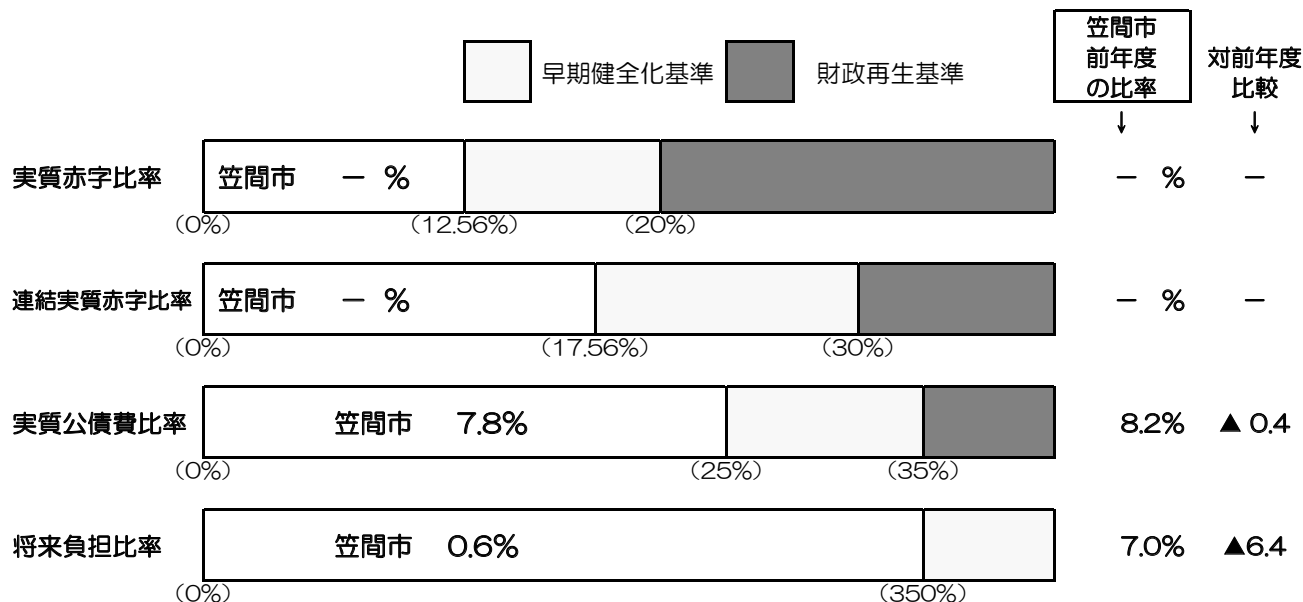
## Ⅵ. 笠間市の財政状況について

### 財政健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という。）」では、「**早期健全化基準**」と「**財政再生基準**」の2段階の基準で財政悪化をチェックするとともに、特別会計等も合わせた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにしています。

令和元年度決算における財政健全化法による4つの指標とは以下のとおりです。

なお、笠間市の財政状況において、すべての比率で基準を下回っています。



財政の健全度を判断するには、以下の4つの指標で判断します。

#### (1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

#### (2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計 + 特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

特別会計等とは、国民健康保険、介護保険、農業集落排水事業、病院事業、水道事業、公共下水道事業など。

#### (3) 実質公債費比率（3カ年平均）

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです。（全会計+笠間地方広域事務組合などの一部事務組合等が対象）

#### (4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。（全会計+一部事務組合+第三セクター等が対象）

\*早期健全化基準：この基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣・県知事への報告、また、毎年度その実施状況の議会への報告、公表が必要となります。

\*財政再生基準：この基準以上となった場合は、財政再生計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣の同意を得ている場合でなければ、災害復旧事業等を除き地方債の借り入れができなくなります。

## Ⅶ. 基金の状況

令和3年度末現在高見込額は約156億2,100万円  
対前年度比約11億3,700万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

今年度は、一般会計の基金繰入金が約3億1,500万円の増となっています。企業立地促進基金の繰入金が減となった一方で、地方創生拠点整備基金、まちづくり振興基金の繰入金が増となったため取崩予定額が増加しました。

また、廃棄物処理推進基金の積立金の増等により、積立予定額は約300万円の増となっています。

### ○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	令和2年度末 現在高見込額	令和3年度		令和3年度末 現在高見込額
		取崩予定額	積立予定額	
一般会計	15,387	1,637	257	14,007
財政調整基金	6,714	440	0	6,274
減債基金	1,265	521	1	745
特定目的基金	5,924	676	256	5,504
土地開発基金	1,484	0	0	1,484
特別会計	1,371	0	243	1,614
国民健康保険 財政調整基金	660	0	162	822
介護給付費準備基金	711	0	81	792
農業集落排水事業 市債償還基金	0	0	0	0
合 計	16,758	1,637	500	15,621

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置)
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金



# 元気かさま 応援基金

元気かさま応援基金は、笠間市を応援して下さる方々からの「ふるさとづくり寄附金」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

令和2年度にいただいた寄附金は、令和3年度の下記の事業に活用させていただく予定となっています。

## ○元気かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

事業の区分		充当事業名	活用金額	担当課
まちづくり支援事業	地域活性化支援	市民活動助成事業	2,278	市民活動課
		地域集会所建設（増改築）事業	2,976	市民活動課
		まちなか犯罪抑止事業	2,543	市民活動課
		商店街活性化事業	5,583	商工課
	国際交流支援	国際交流事業	721	市民活動課
子ども支援事業	子育て支援	子ども総合相談支援事業	11,716	こども育成支援センター
		地域子育て支援拠点事業	3,387	子ども福祉課
		保育士就労支援事業	2,000	子ども福祉課
		在宅子育て支援事業	1,075	子ども福祉課
		子育て世代包括支援センター事業	800	健康増進課
	医療支援	地域医療センターかさま病児保育事業	6,493	子ども福祉課
		予防接種事業	10,788	健康増進課
芸術文化支援事業	芸術支援	全国こども陶芸展推進事業	6,490	生涯学習課
		高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	文化支援	筑波海軍航空隊展示運営事業	1,952	生涯学習課
合 計			60,002	

※なお、「感染症対策事業」へのふるさとづくり寄附金につきましては、新型コロナウイルス感染症対策基金に積み立て、感染症対策事業に活用させていただいております。

## ○ふるさとづくり寄附金

ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）は、笠間市のまちづくりへの共感やふるさとへの思いを抱く人々の、まちづくりへの参加手法として、自治体へ寄附できる制度です。お寄せいただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。



宍戸ヒルズカントリークラブ  
（ゴルフ場利用券）



笠間の栗



公式HPはこちら→

## Ⅷ. 市債の状況

令和3年度の借入額は約54億8,200万円  
 年度末現在高見込額は約547億5,300万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

今年度は、借入予定額が前年度当初に比べて約5,500万円減っています。一般会計における臨時財政対策債が増となる一方、みなみ学園義務教育学校整備事業や多目的広場整備事業等に活用した合併特例債が減となるため借入予定額が減となりました。

### ○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	令和2年度末 現在高見込額	令和3年度		令和3年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	32,792	3,854	3,547	33,099
普通建設事業債等	3,579	709	656	3,632
合併特例債	14,159	1,601	1,657	14,103
臨時財政対策債	15,054	1,544	1,234	15,364
農業集落排水事業 特別会計	3,841	66	239	3,668
病院事業会計	992	9	30	971
水道事業会計	2,143	900	220	2,823
公共下水道事業会計	14,752	653	1,213	14,192
合 計	54,520	5,482	5,249	54,753

合併特例債	合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの
緊急防災・減災事業債	緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災事業のために借り入れるもの
臨時財政対策債	普通交付税の代替措置として借り入れるもの

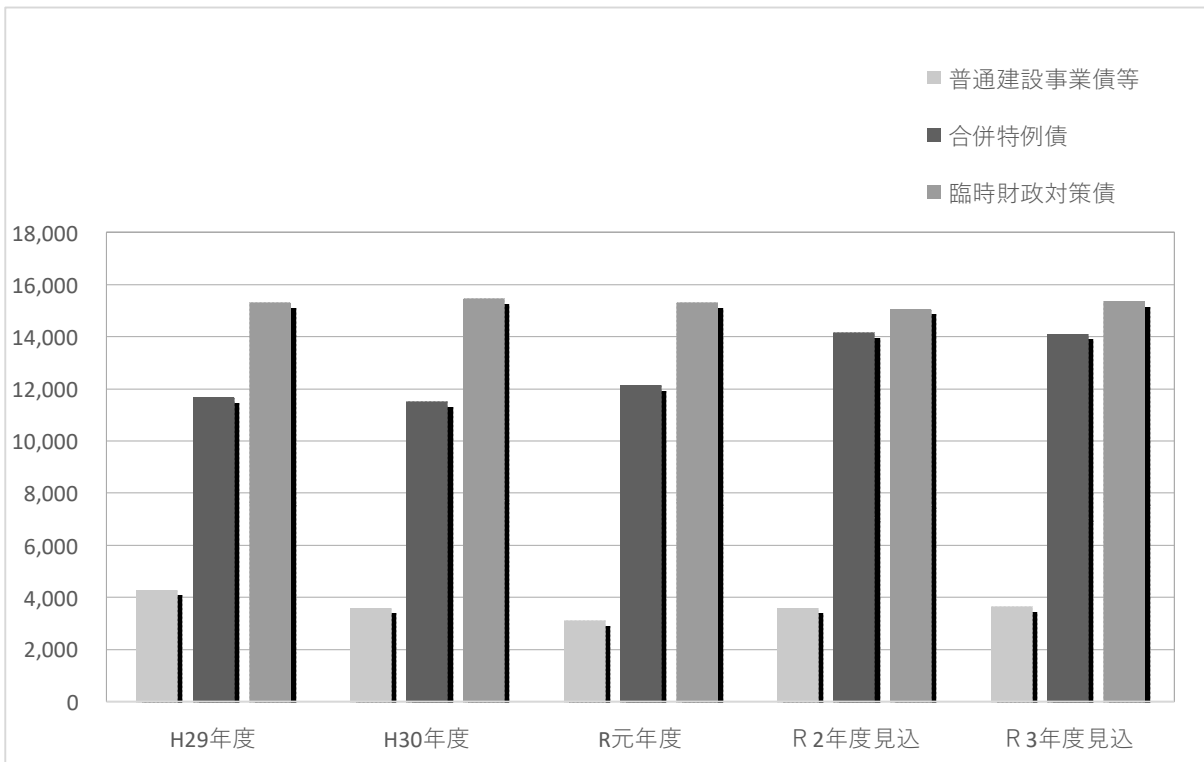
## ○年度末市債現在高推移

一般会計の令和3年度末市債現在高は、前年度と比較すると約3億700万円の増となっています。増加の主な要因は、普通建設事業債等及び臨時財政対策債の借入予定額が元金償還予定額を上回っているためです。特別会計・企業会計の合計残高は減となっていますが、一般会計と特別会計・企業会計のあわせた笠間市全体の残高は増となっています。

毎年の借り入れについては将来の財政運営を十分に見通したうえで、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

### 【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



### いな吉メモ⑤ 『 どうしてお金を借りているの?? 』

今年度は約55億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になってるんだ。「借金をしないと事業ができないなら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、道の駅や幹線道路を整備する時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならないんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたっての利用者も経費を負担するかたちになっているんだ。





## Ⅸ. 合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって措置されるという、非常に有利な財源となっています。

笠間市は、令和2年度までに、239億4,600万円の借り入れを予定しています。

### 【これまでの借入金額と主な活用事業】

道路整備事業 57億4,630万円

#### 主な事業

- 1級12号線  
(岩間支所～畜産試験場跡地)
- 上町大沢線
- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 笠間小原線(桂町工区)

都市整備事業 39億2,360万円

#### 主な事業

- 岩間駅周辺整備
- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間稻荷門前通り
- 友部駅周辺整備(地区道路)
- 多目的広場整備事業
- スケートパーク整備

学校施設等整備事業 50億1,200万円

#### 主な事業

- 笠間学校給食センター建設
- 笠間中学校武道場整備
- 小・中学校校舎エアコン設置
- 友部第二中学校校舎整備
- みなみ学園義務教育学校整備

その他 92億6,410万円

#### 主な事業

- まちづくり振興基金積立
- 地域交流センター整備
- 地域医療センターかさま建設
- 市民センターいわま整備
- 笠間公民館リニューアル

### 【令和3年度の借入予定金額と主な活用事業】

令和3年度借入予定金額 16億110万円

#### 主な事業

- 道の駅整備
- 笠間PAスマートIC整備
- 南友部平町線整備事業
- 多目的広場整備事業
- 最終処分場整備事業

合併特例債(建設事業)には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円(まちづくり振興基金積立分は含まない)が上限となっているよ。



#### いな吉メモ◎ 合併特例債の活用

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10ヵ年度(笠間市では平成27年度まで)に限られていたけど、東日本大震災によって被災した特定被災地区は、期限を延長することができるようになったんだよ。

笠間市も財政上有利な合併特例債を活用するため、令和7年度まで延長したよ。

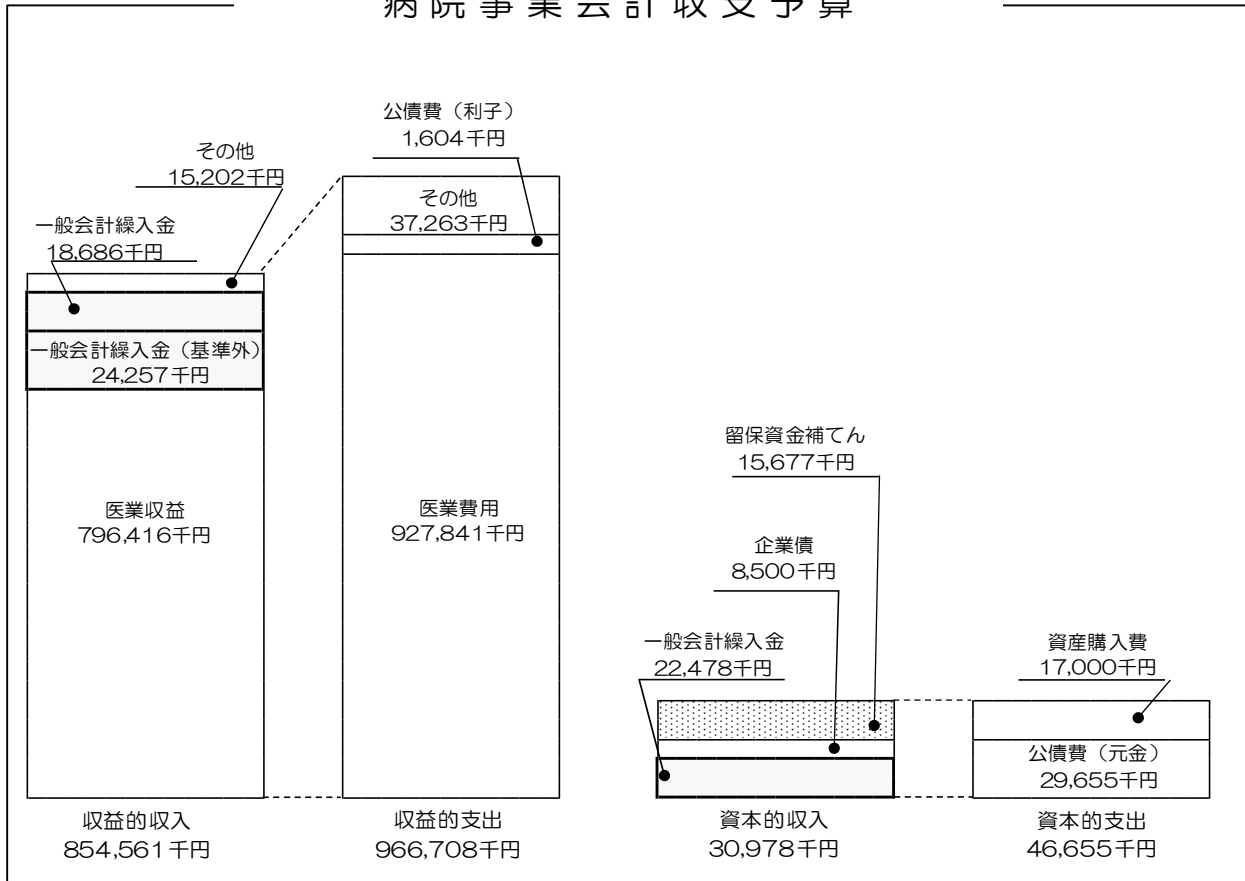
# X.公営企業会計の収支

『公営企業会計』とは、特定のサービスを提供する事業会計となっており、サービス利用者からの収入を以って運営する会計となります。また、通常の会計と違い、より民間企業に近い会計処理となっています。

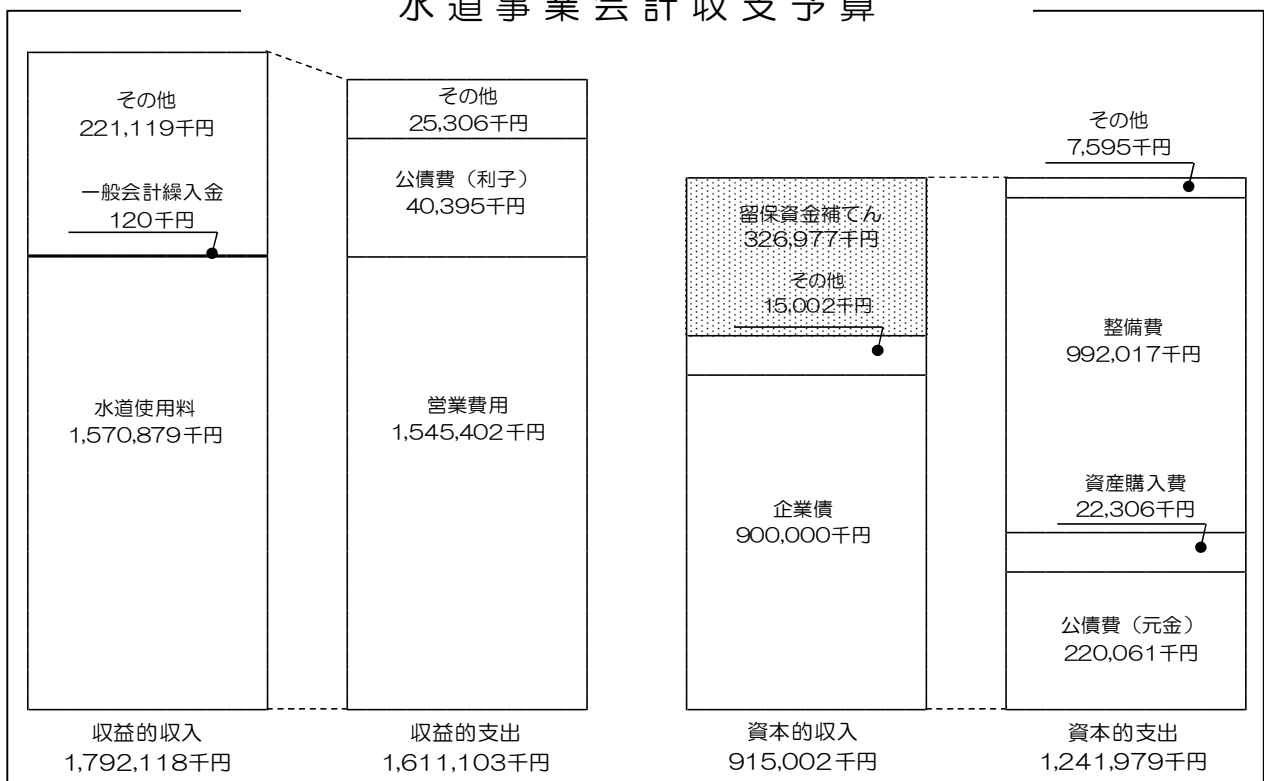
現在市では、病院事業・水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業の4会計があります。下記には4会計の令和3年度当初予算を示しています。

公営企業に係る予算については大きく2つに分類され、運営に関わる予算として『収益的収支』、整備などの資産を形成する予算として『資本的収支』により編成されています。

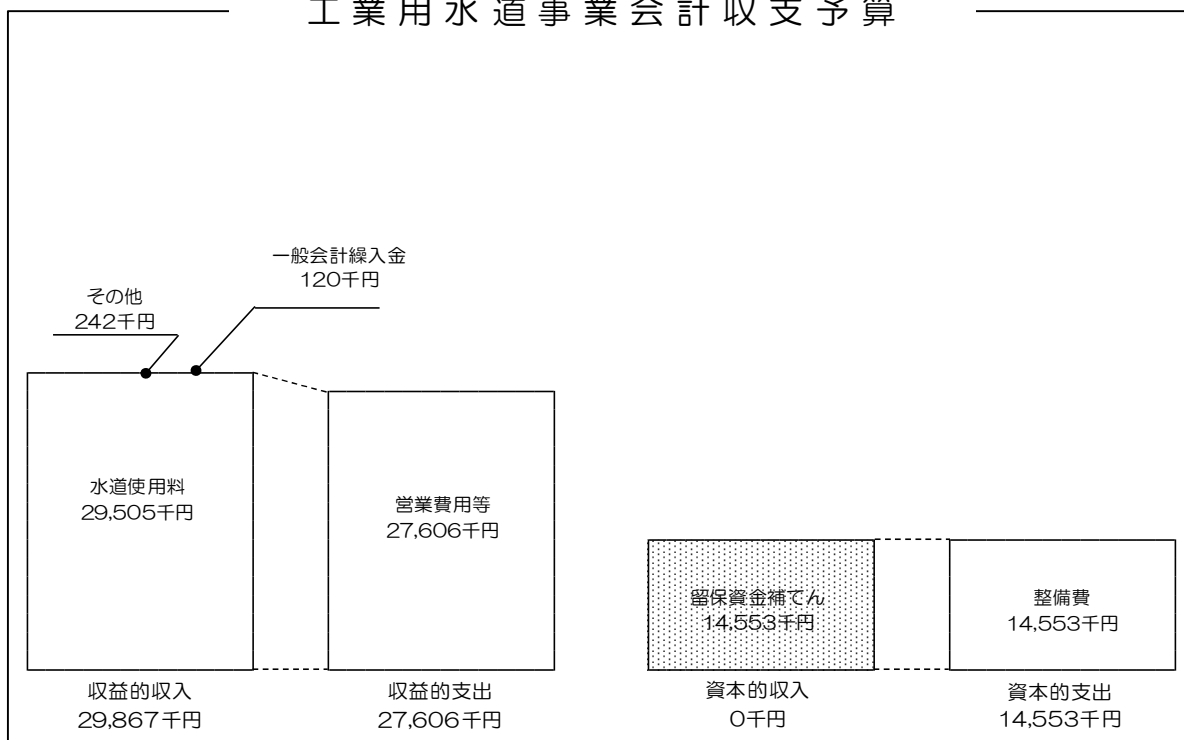
## 病院事業会計収支予算



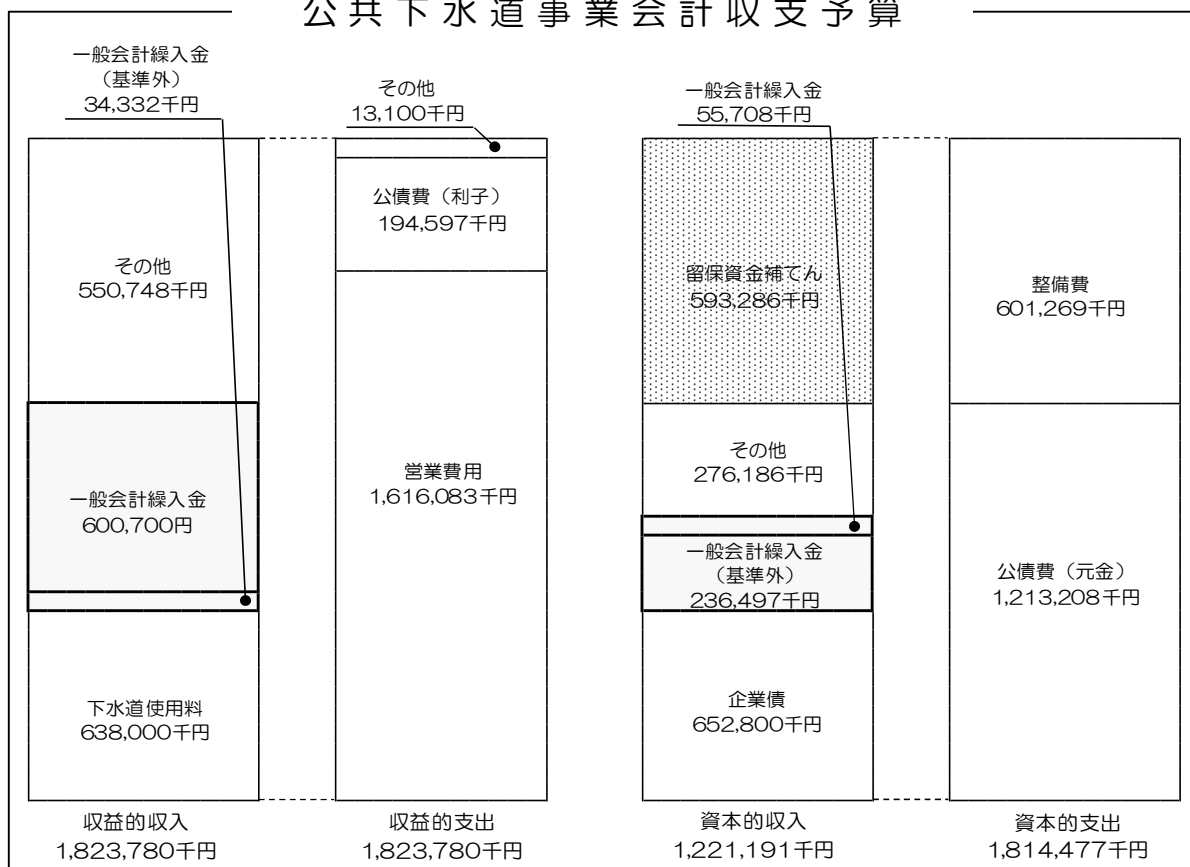
## 水道事業会計収支予算



## 工業用水道事業会計収支予算



## 公共下水道事業会計収支予算



資本的収支の支出超過分については、過年度及び当該年度留保資金などで補てんしています。

一般会計繰入金については、国の定める基準に基づく『基準内繰出金』と『基準外繰出金』があり、病院事業会計・公共下水道事業会計においては基準外の繰出金が発生しております。『基準外繰出金』については、病院事業において、病児保育の運営費用、公共下水道事業会計において、収支差額分を繰出しています。

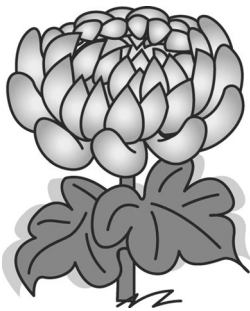
公営企業会計への繰出金については、会計の収支状況及び収入増の取組みを検討しながら適正に支出していきます。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

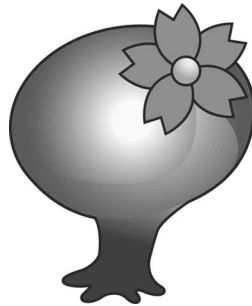
笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう  
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう  
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう  
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう  
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

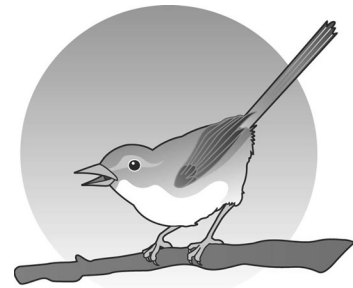
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

令和3年度「わかりやすいかさまの予算」

令和3年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL [www.city.kasama.lg.jp](http://www.city.kasama.lg.jp)



建設

